
フェチズムが人を動かすこともある。

夏山 僕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フェチズムが人を動かすこともある。

【Nコード】

N9338N

【作者名】

夏山 僕

【あらすじ】

ある日、僕に起こった怪事件。

先日、不可解なことが起きた。

僕はここ最近、最寄り駅まで自転車で通勤している。

「最寄駅」とは言ったものの、片道で25分ほどかかる。ま、近頃お腹も精神もたるみっぱなしだったから、ここらで一っ自分に気合いを入れてやろうという寸法だ。

その日も朝から天気が良かったから、僕は自転車で駅まで行った。駅の近くに、地下1階、地上3階建ての市営の駐輪場があって、僕はその2階を月極めで借りている。

自転車はワンフロアにつき、ざっと見て300台ぐらい止められる感じた。

その駐輪場で事件は起きた。

僕は仕事を一通り終わらせて、自宅の最寄り駅で電車を降りて、駐輪場に向かった。

この駐輪場はいつも利用者が少なく、他の人とすれ違う事は滅多にないのに、

その日は何だか、ざわざわしていた。

『ラッシュ時に駐輪場に着いちゃったからかな。』なんて思いながら2階へ上がると、

異様な光景が僕の目の前に広がった。

かなりの人数の人が自分の自転車の横に立っていて、困った顔をしている。

メールを打つ人、携帯で話す人、呆然としている人。

とにかくみんな自転車に乗らないで、困った顔をしているのだ。

『みんなどうしたんだろう。』と思いつつ、僕は自分が朝自転車を置いた場所に行くと、みんなが困っている理由がわかった。

『サドルが……ない??』

朝、しつかりと僕のお尻を乗つけていたサドルがないのだ。

周りの自転車を見回すと、全部、サドルがない。

BMXだろつが、MTBだろつが、ビーチクルーザーだろつが、折りたたみだろつが、

電動アシストだろつが、ママチャリだろつが、そこにある全部の自転車のサドルがないのだ。

『みんなが困っている理由はコレだったのか……。』

僕はそう思いながら、管理人がいる1階へ向かった。

1階へ行こうとした時、上からその光景が見えた。

管理人に詰め寄る人たち。

「窃盗などの事件は警察にご相談ください。我々は駐車場の管理をしているだけです!」

と、何度も大きな声で説明する管理人。

ついでに1階の駐輪場を見てみたら、もちろんそこも同じ光景になっていた。

でも、よく考えてみると、こんな事件は起こっても不思議じゃなかった。

だって、サドルって工具が無くても外せるものがほとんどだし、もし工具が必要なタイプだったとしても、そこいら辺のホームセンターで売ってる程度のものでいいんだから・・・。

しかし、サドルのシステムって面白いものだ。

自分以外の人たちの、良心、もしくは無関心の上に成り立っている。

盗もうと思えばすぐに盗める。しかし、良心が咎めて盗めない。

或いは、そんなものを盗んでも、何の得にもならない。

という、二つの心のシステムによって、盗難から守られている。

しかし、そこに悪心、もしくは関心を示した人間（犯人？）がいた。

この事件は、ただ、それだけに過ぎないと僕は思った。

それより、いったいこのピンチをどうやって凌ぐか。

今の僕に大事なものは打開策だ。

「あ！」僕は思わず、声に出してしまった。

『そっか、その手があったか！』

そう思いながら、僕は自転車を押して駐輪場を出た。

そして颯爽とペダルをこいだ。

立ちこぎなんて、高校生の時以来だなあ・・・。

僕のその姿を見て、真似をする人が続出した。

一気にそこら中が立ちこぎの人たちで溢れかえった。

こうして「サドル難民」たちは難を逃れたのだった。

その後、僕は新しいサドルを買って、またいつも通りの自転車通勤族に戻った。

そして、この事件をすっかり忘れかけていた今日、なんと犯人が捕まった。

近所の人は「すれ違ったら挨拶もするいい人。」という、よく聞く、あてにならない「いい人論」を語っていた。しかし裏の性格はかなり変わっていらしく、とんでもない「サドルフェチ」だったそうだ。しかも「バイセクシャルのサドルフェチ」だって……。

そして、ニュースでは、誰が撮影したのか、犯人の部屋の様子が映し出されていた。僕は部屋の中身を見てビックリした。

なぜかというと、

無造作においてあるコンビニの袋は「サークルK」

ハエなどをやっつける殺虫剤は「フマキラー」

蚊取り線香は「アース渦巻香」

コーラは「バージンコーラ」

テレビはプラズマの「KURO」

というようにマイナー志向だったのだ。

多分、ブログは「楽天ブログ」で、

好きなポータルサイトは「ライブドア」

好きな焼肉の部位は「ハツとミノ」

好きな家電量販店は「ノジマ」

好きな遊園地は「那須ハイランドパーク」

と聞いた感じだろう。

僕にも「バイセクシャルのサドルフェチ」になる可能性があるの
だろうか？

「バイセクシャル」は多分ないな・・・。

そう思いながら僕はテレビを消し、床に就いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9338n/>

フェチズムが人を動かすこともある。

2010年10月10日05時40分発行